

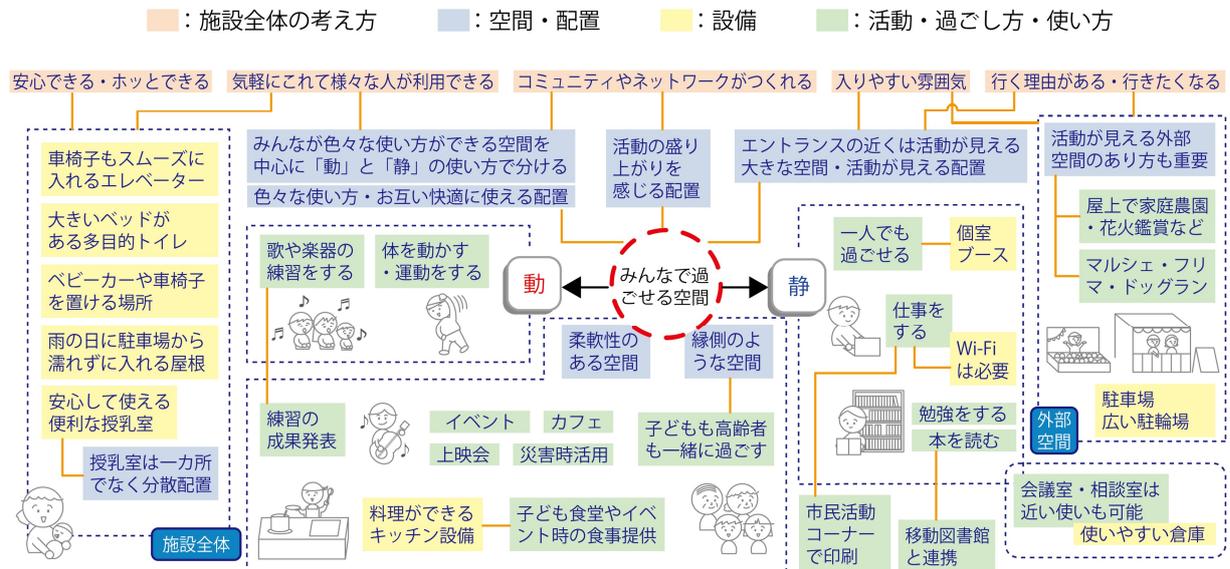
#### 4 新しい拠点に対する市民意見の整理

3回の意見交換会で、新しい拠点をどのような施設にしたいかについて、参加者のみなさんから様々な意見をいただきました。「3 検討結果」では各回・各グループの成果物と発表内容、他のグループの方が発表を聞いて印象に残ったことを掲載していますが、ここではその内容を施設整備・運営の参考となるよう整理しました。

##### (1) 意見交換会の結果から整理した施設のコンセプト

「新しい拠点の機能のつながり」について検討した第2回WSでは、各グループからあがった意見から、共通する考え方や特徴的な考え方を抽出して、次の1枚のイメージ図に整理しました。その結果から、施設のコンセプトとして次の2つのキーワードがあげられます。

(施設のイメージ図) ※WS当日に整理したボードはP.68に掲載



##### 「来たい！目的がある」施設

新しい拠点に複合化するこども文化センター・老人いこいの家は、特定の利用目的や対象者が定められていることもあり、利用者・利用団体が固定化されていることが各施設の課題としてあげられていました。

新しい拠点でこれまでの施設の利用者がこれまでの活動を今後も継続できるよう、既存の機能を維持することが望まれています。それに加え、これまで各施設の利用をしたことがない方や、こども文化センターや老人いこいの家の対象ではなかった世代の方々も、新しい拠点に「来たい！」と思える目的があることが望まれており、これまでの施設の利用方法とは異なる、新たな利用目的があげられました。子ども食堂で食事を提供するなど大人数での活動で地域のつながりを作る

こと、一人で仕事や勉強の場として利用すること、また、一人でやってきて「特に何もしないこと」などがあげられています。このような様々な利用目的に対応できる空間のある施設が望まれています。

#### 「入りやすい雰囲気がある」施設

意見交換会では、「予約が必要なスペースは使いにくい」「気軽に使えるスペースが欲しい」「中でどのような活動をしているのか見えるとよい」という意見があげられました。「来たい！目的がある」施設となるためには、その施設が「入りやすい雰囲気」であり、様々な利用目的に応えられる施設であることが一目でわかるようになっていく必要があります。また、施設を利用したいと思った市民に実際に利用してもらうためには、使いやすい雰囲気、居心地の良い雰囲気も同時に備え、立ち寄ってみたいと思える施設になる必要があります。

この2つのキーワードと、基本計画に記載している新施設の基本方針の「5つの柱」の関係は、次のように整理できると考えられます。

#### 「来たい！目的がある」施設

- 普段も、いざという時も頼りになる安全・安心な「暮らしの拠点」
- 子供が健やかに成長できる、誰もが元気でいられる「笑顔の拠点」
- 交流や学びから、新たな価値が生まれる「つながりの拠点」

#### 「入りやすい雰囲気がある」施設

- 地域に親しまれ、誰もが気軽に立ち寄りたくなる「地域のシンボルとなる拠点」
- 世代を超えて承継される「地域で受け継がれる拠点」

## (2) 意見交換会の結果から整理した具体的な施設整備・運営のイメージ

大師地区複合施設、田島地区複合施設のどちらにも共通する施設整備・運営への意見、それぞれの地区の施設の周辺環境に応じた施設整備・運営への意見を、次のとおり整理しました。

### ① 共通事項

#### ア) 施設整備について

#### 「来たい！目的がある」施設に関する意見

- 目的を特定しない自由な空間の確保

新しい拠点では様々な方が施設を利用するようになるため、これまでとは異なる施設の利用目的があげられています。運動や音楽などの音や振動が出る活動を除いて、特殊な設えが必要とな

る活動は多くなく、多目的に利用できる空間が広く確保することを望む意見があげられています。

一方で、「靴を脱いで過ごしたい」「静かにゆったりと過ごしたい」「にぎやかに食事をとったりお話をしたりして過ごしたい」など、「部屋の雰囲気」についても意見があげられました。利用目的の自由度は保ちつつ、利用者の目的に合わせて活動や居場所が選べるよう、様々な雰囲気を持った空間を設けることも望まれています。

- 開放的で緑あふれる屋外空間の確保

施設の建物内のみならず、屋上や建物の外などの屋外空間にも施設を訪れる目的があることが望まれています。庭園や屋上菜園や芝生の広場などの緑化された屋外空間で、くつろいだり、植物の世話をしたりするなどの意見があがりました。また、屋上を活動場所の1つとして使いたいという意見もあげられました。

- 施設内の他の機能や周辺環境に配慮した活動空間の実現

新しい拠点はあらゆる世代が集い、これまでよりも様々な活動が行われる施設となります。活動の内容や利用者が多様化すれば、音や振動などによって、お互いの活動や近隣住宅にマイナスの影響を及ぼす可能性が考えられます。運動や音楽の活動で用いる部屋はもちろんのこと、特に利用目的が定められていない「まちのリビング」においてイベントを開催したいという意見もあり、施設全体で音や振動への配慮が必要という意見があげられました。

「入りやすい雰囲気がある」施設に関する意見
-----------------------

- 建物内外の視認性・透明性の確保

建物内外から、施設の活動の様子が見渡せるような空間の構成を望む声があります。例えば、建物を貫く吹き抜けの設置や、建物外から内部の様子が見えるような壁面、不必要な内部の仕切りを減らす空間の構成などが意見としてあがりました。これらのような視認性・透明性の確保により、自然光を取り込んだ明るい施設とすることを望む意見もあがりました。

- 新しい拠点への安心・快適なアクセスの確保

大師地区・田島地区ともに、公共交通機関によるアクセスが難しい方が一定数いて、自転車や車で来たいとの意向があります。一方で、現在の施設に対しては、駐輪場が利用しにくいことや、車と人の動線が十分に分離されていないこと、駐車場利用者が施設に入るまでの動線が不便であることなど、改善の要望が意見としてあがりました。具体的には、駐車場・駐輪場の利用者が雨に濡れずに施設に入ることができる動線、指定の場所以外への駐輪がされないような駐輪場の配置の工夫、駐車場の安全性の確保などの意見がありました。

## イ) 施設運営について

### 「来たい！目的がある」施設に関する意見

- 地域の人や活動をつなぐ役割を果たす

町内会や子ども会、マルシェ、子ども食堂など、それぞれの地域では市民の方々による様々な地域活動が展開されています。一方で、地域でどのような活動が行われているかわからない、もっと世代や団体を越えた交流を促進したいという意見があがりました。その実現方法として、地域や新しい拠点で行われている活動の情報を掲示・発信がされていることや、新しい拠点に地域のコンシェルジュを設けて、「支援を受けたい」、「サークル活動に参加したい」などの市民ニーズを、活動とつなげるという意見があげられました。

また、川崎区には外国にルーツのある方が多く居住していることを踏まえ、異文化交流の拠点として地域住民と外国にルーツのある方をつなぐ役割を期待する声もあがりました。

### 「入りやすい雰囲気がある」施設に関する意見

- 柔軟な施設利用により、施設利用のハードルを下げる

これまでの施設では施設利用に予約が必要で、使いにくいという意見があげられました。使いにくい施設では利用者の足が遠のいてしまいます。運動や音楽など利用目的が限定される動的活動スペース以外のスペースについて、「気軽に」「ふらっと」やってきた人でも使えるような柔軟な施設利用を促す運営が望まれています。具体的な方策として、予約が入っていない部屋については自由に使えるようにしてほしい、会議室は間仕切りによって広さを自由に変えられるようにしてほしいという意見があがりました。

- あらゆる世代にとって居心地の良い空間を提供する運営

新しい拠点は、支所・子ども文化センター・老人いこいの家を複合化するため、周辺地域のすべての方々が利用の対象者となります。多様な利用者の交流を促進したいという声がある一方で、子どもと高齢者それぞれのために、独立した空間を引き続き確保してほしいという声も一定数あがっています。

多様な利用者が交流できる施設という複合化のメリットを損なわず、かつ、限られたスペースの中でそのような空間を確保できることが望ましいですが、空間として確保できない場合であっても、子どもと高齢者それぞれにとって居心地の良い空間の提供を、運営によって担保することが期待されています。

## ② 大師地区複合施設

- 地域の活動やイベント等の実施場所の存続

大師支所仮庁舎整備までの期間、新しい支所の3つのコンセプトを具現化する取組をするため

に、大師分室の敷地を「Daishi One Park」として活用しています。人工芝を施したコミュニティスペースがあり、地域の活動団体がイベントを企画・実施していることなどにより、地域の活動の場や居場所として利用されています。新しい拠点には同様の機能や雰囲気を残すことを望む意見があげられました。

- 施設と大師公園と行き来する安全な動線の確保

大師地区複合施設は、大師公園から道路を挟んで正面に立地しています。周辺の道路は一定程度交通量があり、すでに信号付きの交差点があることから、新たに施設の敷地と公園を結ぶ横断歩道を設置することは難しくなっています。今後、公園利用者が新しい拠点を利用することが増えると考えられるため、公園から安全にアプローチできる動線を確保とすることが望まれています。

- 川崎大師が想起されるデザイン

基本計画にも記載している通り、「地域のシンボル」となり、「将来にわたって受け継がれる」施設となることが望まれています。大師地区の市民の方々にとっての地域のシンボルは川崎大師であり、それが想起できるデザインや雰囲気を新しい拠点にも取り入れることを望む意見がありました。

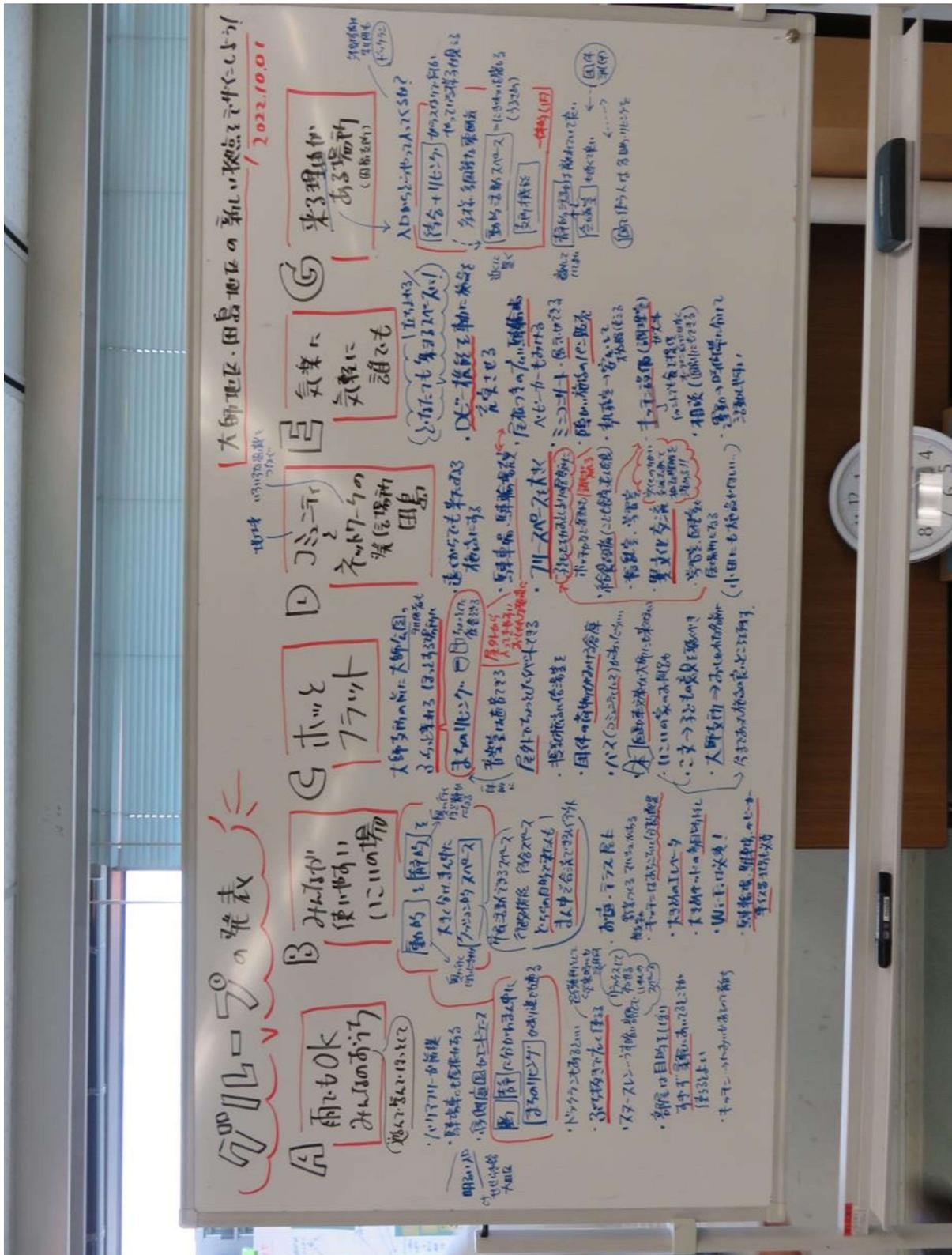
### ③ 田島地区複合施設

- バス停からの快適な動線の確保

田島地区複合施設は、鉄道駅を利用しにくい位置に立地している一方で、鋼管通を通る路線バスの停留所が敷地の前に設置されています。田島地区複合施設を路線バスで訪れる利用者を考慮し、悪天候時でも施設に快適にアプローチできるような動線とすることが望まれています。

【意見全体の整理】

	キーワード	施設整備について	施設運営について
共通事項	「来たい！目的がある」施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的を特定しない空間の確保</li> <li>●開放的で緑あふれる屋外空間の確保</li> <li>●活動が周囲に悪影響を及ぼさない空間の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の人や活動をつなぐ役割を果たす</li> </ul>
	「入りやすい雰囲気がある」施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建物内外の視認性・透明性の確保</li> <li>●新しい拠点への安心・快適なアクセスの確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 柔軟な施設利用により、施設利用のハードルを下げる</li> <li>● あらゆる世代にとって居心地の良い空間を提供する運営</li> </ul>
個別事項	大師地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イベント等開催場所の存続</li> <li>●大師公園からの安全な動線の確保</li> <li>●川崎大師が想起されるデザイン</li> </ul>	
	田島地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バス停からの快適な動線の確保</li> </ul>	





## 参考資料 意見交換会に関するアンケートの結果

第3回 WS の参加者（職員グループを含みます）に、アンケートを実施しました。

問1 今回のワークショップについて、どこから情報を得ましたか。

複数回答 N=34

	件数	割合
1. 市政だより	1	2.9%
2. ホームページ	0	0.0%
3. チラシ	3	8.8%
4. 知人・友人からの紹介	4	11.8%
5. 川崎市職員からの紹介	14	41.2%
6. その他	8	23.5%
無回答	8	23.5%

問2 今回のワークショップは土曜日に開催しましたが、参加しやすい曜日はいつですか。

単一回答 N=34

	件数	割合
1. 平日	4	11.8%
2. 土曜日	15	44.1%
3. 日曜日	1	2.9%
4. いつでも良い	4	11.8%
無回答	7	20.6%
無効回答（複数の曜日を選択）	3	8.8%

問3 今回のワークショップは午後のお昼の時間帯に開催しましたが、参加しやすい時間帯はいつですか。

単一回答 N=34

	件数	割合
1. 午前	8	23.5%
2. お昼の時間帯（13～17）	13	38.2%
3. 夕方以降（17～20）	3	8.8%
無回答	7	20.6%
無効回答（複数の時間帯を選択）	3	8.8%

問4 今回のワークショップの時間の長さについてどう思いますか。

①全体の時間の長さ

単一回答 N=34

	件数	割合
1. 長い	1	2.9%
2. やや長い	8	23.5%
3. ちょうど良い	17	50.0%
4. やや短い	1	2.9%
5. 短い	0	0.0%
無回答	7	20.6%

②グループワークの時間の長さ

単一回答 N=34

	件数	割合
1. 長い	1	2.9%
2. やや長い	4	11.8%
3. ちょうど良い	20	58.8%
4. やや短い	2	5.9%
5. 短い	0	0.0%
無回答	7	20.6%

③発表の時間の長さ

単一回答 N=34

	件数	割合
1. 長い	0	0.0%
2. やや長い	2	5.9%
3. ちょうど良い	21	61.8%
4. やや短い	4	11.8%
5. 短い	0	0.0%
無回答	7	20.6%

問5 グループワークの内容は分かりやすかったですか。

単一回答 N=34

	件数	割合
1. わかりやすい	9	26.5%
2. まあまあわかりやすい	16	47.1%
3. 少しわかりにくい	2	5.9%
4. わかりにくい	0	0.0%
無回答	7	20.6%

問6 今回のワークショップに参加して良かったと思いますか。

単一回答 N=34

	件数	割合
1. 非常にそう思う	11	32.4%
2. ややそう思う	9	26.5%
3. どちらでもない	0	0.0%
4. あまり思わない	0	0.0%
5. 全く思わない	0	0.0%
無回答	14	41.2%

問7 今後もこの施設の整備や運営に関する取り組みに関わっていきたいと思いますか。

単一回答 N=34

	件数	割合
1. 非常にそう思う	10	29.4%
2. ややそう思う	9	26.5%
3. どちらでもない	1	2.9%
4. あまり思わない	0	0.0%
5. 全く思わない	0	0.0%
6. 内容による	0	0.0%
無回答	14	41.2%